

色が与える印象による体重への影響とは

目的・問題意識

人の体重を予測するとなると見た目の印象を根拠とすることは多いだろう。例えば、黒は収縮色と言われ着痩せして見えるが、白は膨張色として着膨れした印象を与える。となると、同じサイズの服を着ていても色によって体重の予測に影響が生まれるのではと考えた。

探求方法

全身または半身に黒と白の衣類を纏い、街頭で体重についてのインタビューを20人に行う。できれば、別の色の服でも行う。

結果はどのような形で表現するか

それぞれの色ごとに体重の度数分布を作成し、差が見られれば、それを推論と比較して結果を示す。

必要なもの・借りたいもの

- ・黒と白の衣類
- ・その他の色の衣類

スケジュール

日付	内容
～12月28日	実験で用いる色の服を購入する。
～1月2日	街頭インタビューを行う。
～1月4日	結果をまとめ、時間があれば別の色の服についても行う。

予想できる問題・質問・アドバイスをほしいこと

- ・インタビューする人数をどのくらいにすれば良いか。
- ・また、年齢を揃えるべきか。

学籍番号：B9DB1015

名前：押切秀太

色の印象による体重への影響とは

目的・問題意識・原理

至る所に人は存在しており、その中のある一人に注意が向くとなると、私たちは見て分かるまたは予測する範囲で視覚から情報を得ようとする。人間は文化的に衣服を纏っているため、その印象による情報も含まれているはずである。

私の弟は黒のスキニーパンツ以外のパンツを頑なに履こうとしない。その理由は、足が太って見えるのが嫌だからだそう。思春期なのだろうか。

そこで、違う色のものを買って見たらどうかと提案したところ、黒が一番細く見えるからと却下された。

サイズ感が違えば太く見えるのは理解できるが、色によっても見た目の印象に影響を及ぼすのだろうか。

今回は印象を視覚化するために、体重の比較によって太って見えるか否かを判断することとした。

方法 図・絵を活用して分かりやすく伝える

予算上の問題から、白と黒の対照的な色のパーカーにそれぞれ同色の細身のパンツを合わせた2種類のスタイリングにおいて比較を行った。サイズは統一した。実際のスタイリング画像を以下に示す。

方法としては、以下の画像のような格好に薄緑の長靴を履いて、「自分の体重が何kgに見えるか」ということを街頭でそれぞれの色ごとに30人にインタビューした。場所は岩手県花巻市の花巻駅にて行った。

インタビュー対象者の性別は均等になるようにし、年齢は問わなかった。また、第一印象で答えてもらうために平均体重などの指標となりうる情報は与えなかった。

↓白のスタイリング



↓黒のスタイリング



結果 データ等得られたものを載せる。必ずグラフの形で表現する

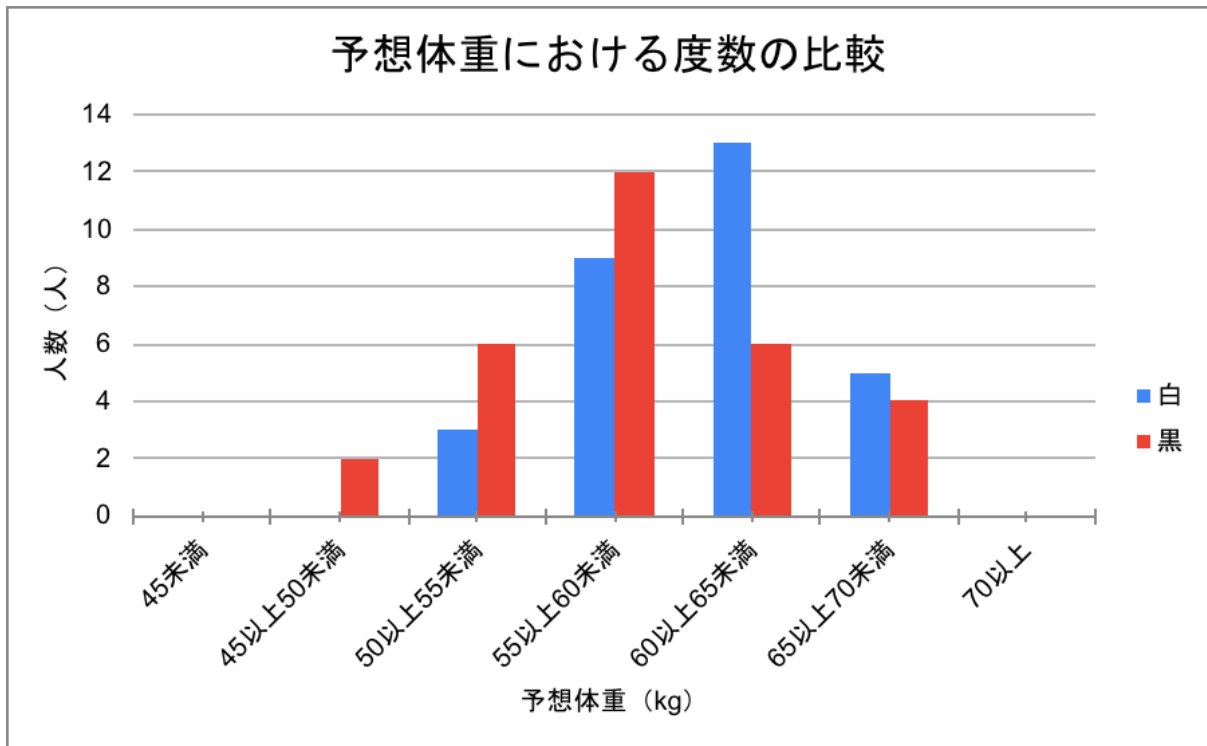
インタビュー結果から得られたものを以下の表とグラフに示す。
度数はその範囲内の体重を答えた人数を示している。

	白	黒
1	63	59
2	56	58
3	50	53
4	57	53
5	62	55
6	60	48
7	60	65
8	55	53
9	60	53
10	57	68
11	60	63
12	62	48
13	57	65
14	63	63
15	65	50
16	63	58
17	68	60
18	61	58
19	55	50
20	55	56
21	65	60
22	58	55
23	54	56
24	50	57
25	58	56
26	62	58
27	61	63
28	63	63
29	68	58
30	65	65
平均	59.76667	57.56667
標準偏差	4.521676	5.194121

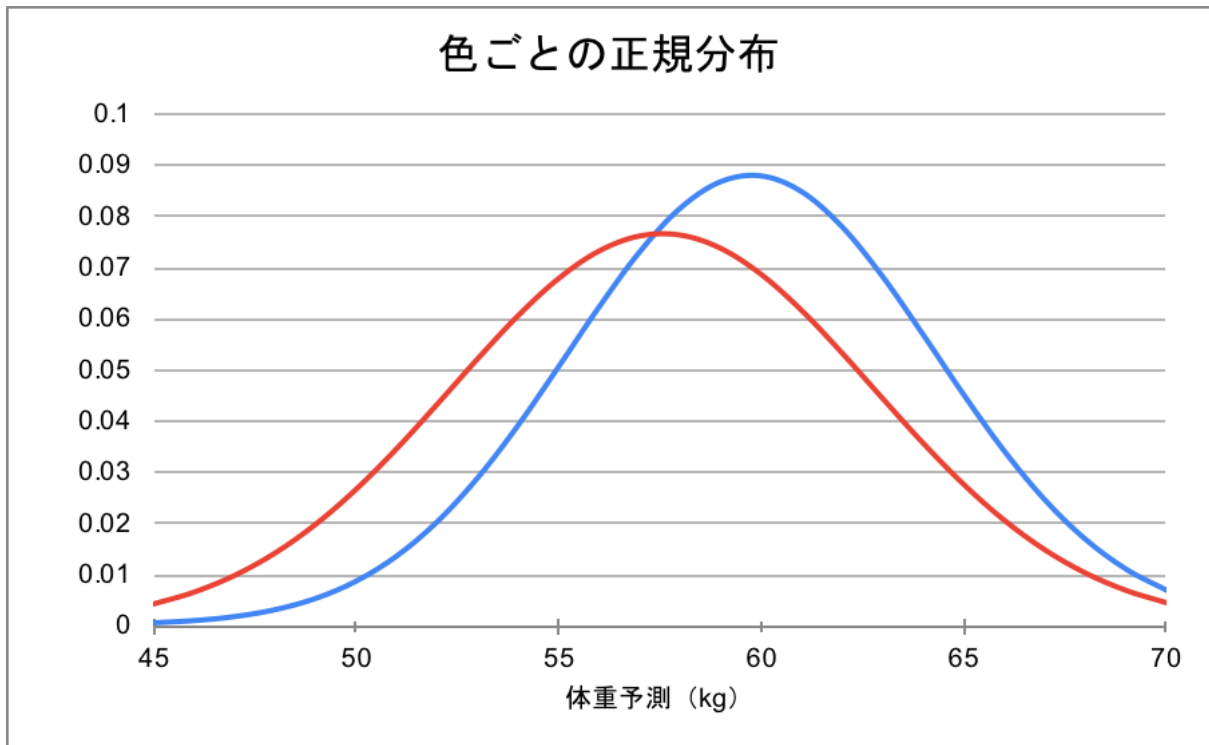
表 1 : インタビュー結果と求めたデータ

予想体重 (kg)	白	黒
45未満	0	0
45以上50未満	0	2
50以上55未満	3	6
55以上60未満	9	12
60以上65未満	13	6
65以上70未満	5	4
70以上	0	0

表 2 : 各範囲の度数



グラフ 1 : 表 2 のヒストグラム



グラフ2 : 表1のデータから求めた正規分布

グラフ1と2から、白のスタイリングの方の体重をより重く見積もる人の割合が多いことが分かった。

また、表1の平均値によると、白のスタイリングで予想された体重は黒のそれよりも2.2kg重くなっていた。

考察・結論 目的・問題意識に対してどのような事が得られたかを意識して書く

今回の白と黒のスタイリングの違いによる予想体重では、分布の観点から明かな違いが生まれた。また、予想平均体重にも2.2kgの差が生まれた。その差を大きいと思うか、小さいと思うかは人によるとは思うが、以上のように衣服の色は見た目の印象に影響を及ぼしているといえる。

この理由としては、白が膨張色、黒が収縮色の代表的なものであることが考えられる。つまり、同じサイズの衣服であっても白い方は大きく見え、黒い方は小さく見えることによって、視覚的に大きさの違いが生まれているのである。しかし、色には大きさの印象以外にも直接的に重さの印象を与える性質を持つと言われている。明度が高いほど軽く感じるというものである。

今回の場合、人が経験的に身体の大きさと体重に相関があると考える傾向にあり、直接的に重さの印象を生み出しにくい状況だったため、以上のような結果になったのだと思われる。結論としては、弟のいうように黒と比較すれば白の衣服には多少太って見える効果があるといえる。一番対照的な色どうしの比較であり、差は生まれやすいのだろうが明度の低い収縮色どうしであれば差は少なくなると見込めるため、黒が一番細く見えるというのは根拠に乏しいのではと思われた。

(出典 : http://color-psychology.jp/kouka_look.html)